

事業  
英検 I B A の結果について

■概要

国際化の急速な進展により、将来の社会において必要とされるグローバル人材の育成は、日本全体の差し迫った課題となっている。本市では、国に先がけて、児童生徒に「豊かな国際性と国際的に通用するコミュニケーション力」が身に付くよう、平成26年度より、市内全小中学校及び義務教育学校に英語を母語とする外国語指導助手（ALT）を常駐配置して英語教育を推進しているが、その成果検証のため、市内全中学校3年生及び義務教育学校9年生が「英検 I B A」を受験した。

※英検 I B A（Institution Based Assessment）とは

日本英語検定協会が実施している英語能力測定テスト。受験者の英語力を把握するだけでなく、英検の「〇級レベルの力がある」との判定ができる。

■受験者数

市内の中学校3年生及び義務教育学校9年生 1, 047名

■期日及び場所

平成29年12月18日（月） 各中学校及び義務教育学校にて実施

■結果

受験者の51.8%が英検の3級レベル以上の力があると判定された。

■その他

文部科学省が示した「生徒の英語力向上推進プラン」（平成27年6月5日）では、第2期教育振興基本計画中の成果目標（平成25年から29年）として、「中学卒業段階に、英検3級程度以上 50%」を掲げている。本市においても、文部科学省と同じ指針で英語教育を推進してきた。